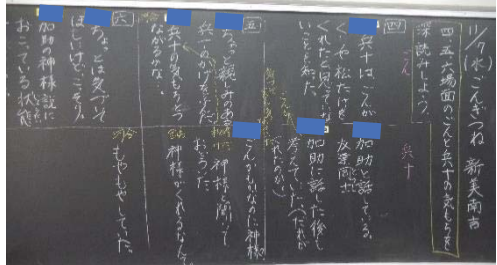
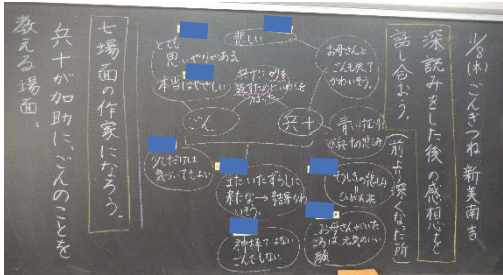


図書館活用実践（授業実践）

西生田小学校 佐瀬洋子

学年・教科「単元名」（時間）	4年生・国語「ごんぎつね」（単元の最後）
<p>ざっくりした単元（授業）の流れ</p> <p>*子どもの様子、ワークシート、工夫など</p>	<p>授業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ごんぎつね』の物語を読み、話し合って自分の考えを広げたり深めたりする。 新美南吉の作品をペア読書することにより、物語を読んで感じたことを話し合い、書き手の考えを述べ合うことを通して作品を味わう。 <p>授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 『ごんぎつね』の全文読みをして、「ごん」と「兵十」の人物像について話し合う。 「ごん」はいたずらぎつね。だけど、兵十のお母さんに悪いことをしたと思って、栗などをもっていく、やさしいぎつね。 「兵十」は、ごんが栗をくれたことを知らないで、「ごん」を火縄銃で撃ってしまうかわいそうな人。 場面毎に話し合い、「ごん」と「兵十」の気持ちについて詳しく読む。 詳しく読んだ後の感想を話し合う。   <p>お母さんもごんも失って本当に一人ぼっちになってかわいそう。</p> <p>ひがんなの踏み折られている感じが悲しさを感じる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 情景を入れながら、物語の続きを書く。 ・兵十は暗い夜の中、少しだまってから言いました。「おれ、昨日物置でなわをなっていたんだ。そしたら、あの時うなぎをとったきつねが家に入ってきた・・・おれは、つぐないをしにきたきつねをうってしまったんだよ。」・・・「そうか。」・・・ふと兵十はしだのいっぱい茂った森の方を見ました・・・ 新美南吉の作品を学校図書館で探し、本をペアで読んで、作品の感想を述べ合っって深める。
使った学校図書館の機能	PC (OPAC)、50インチ TV、請求記号、別置
選書の工夫、どんな本を使ったか	新美南吉の本絵本17冊、新美南吉童話集7冊、文学全集1冊、詩集2冊、光村ライブラリー1冊、文庫1冊、学校劇1冊 <以上 OPAC 著者検索>
本を活用することで、情報活用能力のどの力をねらったか	あつめる力（自分で本へ探しに行く）
実践した感想・その他	予想以上に早く本を集めることができ、新見南吉さんの本を読み比べて、作品に流れる悲しさや不思議さにひたることができてよかった。他のクラスや学年の児童も同じ作者の本を読み広げることができるよう校内で広げていきたい。

